

⑬総合運動公園周辺



1977年8月1日に完成した総合運動公園は、市内ではあまり見られないブナの植栽があるなど、緑が豊かで人の利用が多い、人と自然が近い公園であり、つくばエクスプレス沿線土地区画整理事業地内の緑化推進エリアにおける緑の拠点となっている。公園の東側にある古間木調整池は、周辺が草斜面林、水田などに囲まれ、多くの水鳥や水生生物が生息する場所として期待されている。

環境タイプ

森林 草地 調整池

(地権)

公有地、民有地

(所管)

流山市役所、民有地

(市民的視点)

総合運動公園から八木中の裏にかけて谷津、調整池、水田等があり、駅から近い豊かな自然である。

(評価結果)

【△】

総合運動公園と周辺環境は、公有地と民有地が混在しているため、積極的な保全活動は難しい。2020年頃に存在していた水田が埋め立てられてしまったという事例もあり、開発に伴い地権者がどのように運用していくかという不安定な要素も含んでいる。開発・整備が進んだ総合運動公園及びその周辺は、市民の出入りが増加することによる植物や鳥類への影響を最小限にする工夫が必要になる。